



# 野女っ子『野田女子高校だより』

第1号 平成24年4月27日(通巻28号)  
鹿児島県出水市野田町下名 5454  
Tel 0996-84-2074 Fax 84-2161  
鹿児島県立野田女子高等学校

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/noda/top.html>

## 入学おめでとう！

本科第49回入学式

専攻科第42回入学式

花曇りの穏やかな天気にも恵まれた、4月9日(月)、本科生110名、専攻科生18名、計128名が学校長より入学を許可され、野田女子高校の仲間入りをしました。

今年度より本科生の制服が変更になり、上級生と同じくグレーを基調としながらも新しいデザインの制服を身にまとった新入生がさわやかな空気を吹き込んでくれました。

同日、白梅寮においても入寮式が行われ、合計18名の生徒が親元を離れての緊張した寮生活をスタートさせました。



入学式 新入生代表宣誓



## 新しい風をまとって

校長 富山 裕子

今年度学校創立64年目を迎えます本校は、幾多の変遷を経ながら今日に至っていますが、充実した専門教育を担う県立唯一の女子高として、県下一円に止まらず近隣県からの入学生も受け入れつつ、いよいよ確実な歩みを進めています。

特に、昨年度は本校の長い歴史の中で、初めて校訓「自立 誠心 共生」が制定されました。その理念とするところは、校章の由来や校歌の歌詞に託されていることと相まって、これからの野田女子高校生のあるべき方向を掲げたものといえます。すなわち、礼儀正しく、身だしなみの整った、他への思いやりや寛容さを備え、若くはつらつと将来への希望に満ちた、誇り高き野田女子高校生がめざすべき「品格ある姿」につながるものといえます。

冷たい季節がようやく遠のいたと感じられるようになった途端に一気に咲き誇った桜の、まだ美しさの余韻が残る中、今年度から新しくなった制服を身にまとった110名の初々しい本科生と、伝統ある制服を凛として着こなした専攻科生18名の新入生、定期人事異動により転入した十数名の教職員を迎え新年度がスタートしました。本科並びに専攻科入学の皆さん、ご入学おめでとうございます。自然が移り変わっていく様子は、私たちが少し心を澄まして眺めるだけで、毎日の生活に多くの楽しみや驚き、期待感までももたらしてくれます。皆さんが過ごす野田女子高校での3年間ないし5年間の学びの時間は、まるで季節が移り変わっていく中で感じる喜びや驚き、明日に向かっての期待感を感じさせるに等しいものとなり、きっとそれぞれの長い人生の中で大きな意義を持つことになるでしょう。この春、長い伝統に培われた野田女子高校に、皆さんという新たな風が吹き込まれ、新たな伝統を築くべく第一歩を踏み出しました。みんなで心を合わせ、美しき愛に満ちた理想を力強く追い求めていきましょう。

今年度も、本校の教育活動推進のために保護者の皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

## 新任者紹介

17名の新しい職員が転入しました。どうぞよろしくお願ひします。

とみやまゆうこ 富山裕子 (校長)	にしぎきよこ 西崎聖子 (国語)	ながくらとおる 長倉 徹 (数学)	なかやまけんし 中山健志 (保健体育)	ゆふねなおこ 湯舟直子 (家庭)
かわざわかずこ 川涯和子 (家庭)	よしかわまあき 吉川真亜沙 (家庭)	たけなかけみ 竹中暁美 (看護)	つるや 鶴屋ともみ (看護)	
やまうちさとこ 山内聡子 (看護)	かたやまふさえ 片山房江 (看護)	おおの とみ こ 大野登美子 (看護)	てらぞのつぎえ 寺園二 恵 (事務主査)	
いちかわまなつ 市川真夏 (保健体育)	はたけやまあきこ 畠山章子 (家庭)	しんはし めぐみ 新 栞 恵 (図書)	いでお ゆたか 井手尾 豊 (理科)	



# 平成24年1月27日～2月10日に実施された「学校関係者評価委員による評価」

評価基準 A～十分達成 B～課題はあるがおおむね良い

評価の観点	評価資料等	評価	所見
1 学校は経営方針及び具体的教育目標に準じて適切に運営されているか。	学校案内等委員会資料	A	・目標の明確化が図られている。 ・校長先生に自分の考えがある事を感じる。
2 自己評価・外部アンケートの結果内容は適切であるか。	自己評価・外部アンケート	A	・良いと思う。 ・反省することの意識づけのために、生徒さんの規律や校則、生活面等に関する自己評価もあってはどうか。
3 自己評価・外部アンケートの結果内容は適切であるか。	自己評価・外部アンケート集計表	A	・正直で良いのではないか。
4 地域に開かれ、地域に信頼される学校であったか。	学校行事の参加人数等	A	・地域交流のイベントなどは必要か。 ・体育祭・文化祭に参加して良好と感じています。 ・グラウンドの開放などもう一工夫。関連を持つ連携のきっかけに。
5 生徒一人ひとりが伸び伸びと活動し、活気に満ちた学校であったか。	自己評価・外部アンケート集計表・授業参観	A	・学校不応となり、進路変更をする生徒のことを聞き、中学校でも進路指導のさらなる充実を図りたい。 ・デンマークでは自分の進路は中学校で決めららしい。
6 職員が使命感と責任感を持って生徒の指導に当たったか。	自己評価・外部アンケート集計表	A	・授業参観を体験して、ピシッと決めている。
7 学校は特色ある活動をPRする方策を行ったか。	学校だより・ホームページ等委員会資料	A	・イメージアップに努力されている。 ・今年は、特に目立った。
8 保護者（PTA）の協力は得られたか。	PTA活動参加者人数委員会資料	A	・PTAの土・日祝日開催などによる参加向上も。 ・8/28のPTA奉仕作業は、なぜ少ないのか理由を知りたい。 ・学校関係の美化は、PTAも年2回くらい参加しては。皆で取り組む。
9 関係機関及び近隣の小・中学校との連携は図られたか。	各種事業等の実施記録等	A	・おかべ会は良いと思う。

## 学校の現時点での課題

- 基本的な生活習慣の確認（あいさつの励行）
- 気品ある生徒の育成（スカートの丈等服装を正す）
- 入学者の定員の確保
- 安心・安全な学校づくりの推進

## 課題に対する改善策（予定）

- PTAのあいさつ運動の継続と職員と生徒会によるあいさつ運動の実施
- 正しい制服の着方について各学年ごとに指導を徹底させる。
- 中学校への広報活動を充実させ、本校の特色をアピールする。対外的に優秀な成績を修めた生徒の実績を横断幕を掲げ、地域に広報する・
- 職員が常に危機管理を意識し、事故を未然に防ぐ方策を実践する。

## 外部評価委員会の委員からの助言等

- 地域へのイメージアップへの努力が地元就職などの増加といった具体的な成果に表れてきていると思います。
- 予算や環境といった地方の学校のハンディを補うために、外部資源とのタイアップが図れるコーディネーター（進路とは別）を置かれてもいいのでは？と思いました。
- 野田中学校に対する出前授業をありがたく思っています。高校の授業に接するよい機会だと思えます。
- 学校の中、学校の廻りがとてもきれいで、感動を覚えました。校長先生の言われた、「あと、ひと息頑張れ」という言葉はとても印象的です。

## 交通安全ストラッププレゼント



野田小学校入学に先がけて、新一年生になる野田幼稚園および野田保育所の園児へ「交通安全ランドセルストラップ」をプレゼントしました。

このストラップは、新入生の登下校の安全を願って、本校情報コースの2年生と家庭クラブ委員が作製したものです。

三月に野田幼稚園と野田保育所を訪れ、園児に直接手渡し喜んでももらいました。



## 「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰受賞

子どもの読書活動について、関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを実践した学校として、本校が標記の賞を受賞しました。4月23日に東京で行われた表彰式には出席できませんでしたが、近日中に記念品等が贈られる予定です。今回の受賞は、これからの読書活動に励みになりました。